



岡田拓三准教授が2020年度日本数学会代数学賞を受賞

【概要】

数理部門の岡田拓三准教授が、「ファノ多様体の双有理的森ファイバー構造の研究と有理性問題への応用」により2020年度（第23回）日本数学会代数学賞を受賞しました。

【本文】

数理部門の岡田拓三准教授が2020年度（第23回）日本数学会代数学賞を受賞しました。受賞対象となった研究業績は「ファノ多様体の双有理的森ファイバー構造の研究と有理性問題への応用」で、2020年3月6日に日本数学会ホームページにおいて公表されました。

1998年に創設された本賞は、広い意味での代数学の進展に著しく貢献した人に与えられており、毎年2名程度の受賞者が選考されています。本学では初めての受賞者です。

岡田准教授は、2020年3月16日（月）～3月19日（木）に日本大学で開催予定であった2020年度日本数学会年会において、1時間の代数学賞受賞特別講演が行われることになっていました。あいにく新型コロナウイルス感染症の影響で年会は中止となりましたが、日本数学会の会員誌「数学通信」にて業績の紹介が行われます。

○ 2020年度日本数学会代数学賞

数理部門 岡田 拓三 准教授

「ファノ多様体の双有理的森ファイバー構造の研究と有理性問題への応用」

※賞のホームページ：<https://www.mathsoc.jp/publicity/algebra2020.html>